

# 戦争法(安保法制)廃止、立憲主義の回復へ

# 国政での選挙協力で

# 5野党

(日本共産党、民主党、維新の党、社民党、生活の党)

# が合意



2月19日、国会内で会談する、日本共産党の志位和夫委員長、民主党の岡田克也代表、維新の党の松野頼久代表、社民党の吉田忠智党首、生活の党の小沢一郎代表の5野党の党首ら。(日本共産党ホームページより)

日本国憲法に背く戦争法の強行成立から5ヶ月となった2月19日、日本共産党、民主党、維新の党、社民党、生活の党の5野党の党首が国会内で会談。

「安保法制(戦争法)の廃止」、安倍政権打倒、国政選挙で最大限の協力を行うことなど4項目で合意しました。

合意事項について、5野党の幹事長・書記局長で早急に協議し、具体化をはかることを確認しました。

## 党首会談での確認事項

- ① 安保法制の廃止と、集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通の目標とする。
- ② 安倍政権の打倒をめざす。
- ③ 国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数に追い込む。
- ④ 国会における対応や国政選挙などあらゆる場面で、できる限りの協力を行う。

## 「野党は共闘」の国民の声に応える画期的な合意

日本共産党 志位和夫委員長



志位和夫委員長は、5野党党首が国政選挙での選挙協力を確認した

たことについて、「野党は共闘」という多くの国民の声に応える極めて重要で画期的な確認です。」「参院選の1人区の候補者調整については、安保法制・戦争法廃止、立憲主義回復という大義の実現のために、思いきった対応をした」と述べました。

日本共産党が提唱している「戦争法廃止の国民連合政府」について、志位委員長は、この政府が必要との「立場は今も変わりません。ただ、同時にこの問題については賛否さまざまということも承知しています」「政権の問題については、横において選挙協力の協議に入り、今後の協議のなかでわが党の主張をしていきたい。」と述べました。



\*日本共産党京都府委員会は上記の見解を發表しました。  
発行：日本共産党京都府委員会  
◆2016年2月第4号 連絡先：TEL 075 (211) 5371  
住所：〒604-0092 京都市中京区丸太町新町角大炊町 186



衆院京都3区補選、7月の参議院選挙

# 野党の勝利、日本共産党の躍進で 自民・公明とおおさか維新を少数派に！

日本共産党は、野党5党の選挙協力の具体化へ、「選挙協力の協議にのぞむ方針」を決めました。(下欄)

4月24日投票の衆院京都3区、7月の参院選、野党の勝利、日本共産党の躍進で、自民、公明と、それを補完する「おおさか維新の会」を少数派に追い込みましょう。

## 選挙協力の協議にのぞむ方針

- \* 戦争法廃止、集団的自衛権容認の「閣議決定」撤回を、野党各党の選挙公約とし、5野党選挙協力の大義を示す。政権問題では、「戦争法廃止の国民連合政府」をめざす日本共産党の提案を引き続き主張。
- \* 選挙協力の協議では、参院選1人区を優先。日本共産党が他党の候補を応援する場合は、①戦争法の廃止を公約とする。②選挙協力の意思があることを選挙協力の条件とする。
- \* 選挙協力の形は、単なる「すみわけ」ではなく、本格的な「協力」をめざす。政策課題では、可能な限りの一致点をめざす。

## 安倍政権の暴走ストップ、政治の転換へ

安倍政権は、戦争法強行、原発再稼働、消費税大増税、TPP、沖縄新基地押し付けなど、あらゆる分野で国民多数の声を踏みにして暴走しています。日本共産党の躍進で、安倍政権の暴走政治をストップし、政治の転換を実現しましょう。



昨年8月30日、12万人の人たちが国会を取り囲み、戦争法案廃案、安倍首相の退陣を求めました。(日本共産党ホームページより)



日本共産党参院京都選挙区予定候補

大河原としたか

【制度解説】

2016年7月参議院選挙・投票方法

比例代表は「日本共産党」政党名を書きます。

参議院比例代表は政党名でも個人名でも投票できます。

選挙区は「候補者の名前」で

日本共産党大街頭演説

日本共産党

志位和夫 委員長・衆院議員  
がお話しします。

日時：3月20日(日) 午後4時～ 場所：京都駅前

